



JAPAN COAST GUARD **Mobile Cooperation Team**

フィリピン沿岸警備隊に対する能力向上支援 (活動概要)

- 1 日程
令和7年8月31日（日）～9月13日（土）
- 2 場所
フィリピン（マニラ）
- 3 派遣職員
海上保安庁 MCT (Mobile Cooperation Team) 3名
海上保安試験研究センター 主任試験研究官等3名
- 4 研修参加者
 - (1) フィリピン沿岸警備隊 (PCG) 訓練指導要員及び PCG 所属船艇乗組員 49名
 - (2) フィリピン沿岸警備隊 (PCG) 海洋環境保護司令部 (MEPCOM) 所属職員 28名
- 5 活動概要

PCG より MRRV (多目的船: Multi-Role Response Vessel) の新規導入 (ODA: 政府開発援助) にかかる、同船の運用及び海上法執行等能力向上の支援継続の要望を受け、本年6月から新たに日本国際協力機構 (JICA) における「PCG 海上保安能力向上技術協力プロジェクト」が開始されました。

MCT 等は同枠組みを通じて、前記4(1)のPCG職員に対する多目的船のえい航、安全運航及び船舶火災におけるダメージコントロールの能力向上支援、4(2)のPCG職員に対する油防除及び分析に関する能力向上支援を実施しました。

海上保安庁では、引き続き「自由で開かれたインド太平洋 (FOIP)」の実現に向け、各国の海上保安機関との連携・協力関係を強化していくとともに、インド太平洋沿岸国への能力向上支援を推進してまいります。



ダメージコントロール（火災）



台風対策講義



えい航訓練

（44m型多目的船による24m型PCG所属船のえい航）



（資料封印方法の紹介）



（油分析理論に関する講義）

海上保安試験研究センター試験研究官による油分析に関する講義